



## ■理念

私たちは、“このままが美しい”と考えています。私たちが考える美しさとは、ただ単に“綺麗”ということではありません。110年間、先進的なものづくりを行い、また戦争や風雪、大地震に耐え、歴史の生き証人として今だに威風堂々とそびえ立っている赤レンガ建物は、各所でほころびが見えますが、かえってロマンチックな風情を醸し出しており、私たちはこれを美しいと思うのです。このままの美しさをバックに文化・芸術・音楽、そして人々が集う場として残していきたいと考えています。「時をこえるまちの息吹」を感じてください。



「赤煉瓦倶楽部」としての夢を構想として具体的にまとめることにしたのです。ところで、普通、「活用」といえば、設備の整った近代的な施設をつくって利用してもらい、あるいは商業活動の場を提供して収入を図ることが目的になり勝ちですが、「赤煉瓦倶楽部」は、“100年前の起業家精神を未来に引き継ぐ場”として半田赤レンガ建物を整備し「この建物の存在を世に発信する」ことを目的としました。

## ◆「赤レンガ建物活用案」が決まるまで

メインテーマである「赤レンガ建物活用案」の倶楽部案がまとまるまでには長い時間がかかりました。平成20年1月の新春合宿でテーマが決まった後に「活用検討委員会」が発足し、土曜、日曜の午後には計10回開催されました。最初の頃は、敷地全体のこと、建物のことなどの議論が交錯して二転三転する場面もありましたが、

(1) 文化遺産としての雰囲気保全を最重点項目とする。(2) 検討の対象を「赤レンガ建物」とし、敷地のことなどは付帯事項として併記する。(3) 建物内部だけの採算自立は図らない。

と内容を絞って検討を進めました。また、委員会では、外部から専門講師をお招きし「診断・補修方法・各地の事例」の講演会、愛知建築士会が主催した赤レンガ建物の利活用に関する学生コンペ作品の解説などの勉強会も行い、専門的な知識を高めました。その結果、活用案として、1階部分には休憩スペース、管理事務所、赤煉瓦歴史展示コーナー、喫茶・お酒の飲めるバーとしての利用、2階部分はレンガ建物の持っているレトロ感、癒しの空間を残し多目的スペースとして様々なイベント展示、芸術活動などに利用できるように意見がまとまりました。特別公開の当日には、倶楽部員それぞれの想いは、透視図と絵で分かりやすく描かれ、展示されました。

## ◆「活用案」に反響多数！

当日は、来場者に「建物活用に関するアンケート調査」をお願いし、記入されたものを貼りだしていきました。建物の歴史コーナーや博物館、過去の悲惨な戦争の伝承コーナー、ものづくりのスペース、喫茶・レストラン、建物外の公園の整備、文化芸術活動の場、子供の遊び場などに活用する提案として貴重なご意見をいただきました。

## ◆各コーナーでは

一方、サブテーマで「レンガ製造・運搬」に関する展示発表が行われました。このコーナーでは、岡田煉瓦さんより「木型と刻印」の実物をお借りし展示しました。武豊町の前田さんからは運搬に用いた「ダンベ船」の模型を借用展示でき学習の場としても好評でした。また、今回は、子供が楽しめるコーナーも充実し、子供あそびコーナー・子供ものづくりコーナーでは、レンガパズル・レンガブロックの他、パソコンクラブの「赤煉瓦缶バッジづくり」、半田工業高校生による赤煉瓦ペーパークラフトづくりや、ビール瓶を包む菰づくり体験、サンドブラスト体験などがありました。特に「赤煉瓦缶バッジづくり」は人気で、スタッフの方が大忙しで作り、子供たちはうれしそうに服に付けていました。このように、赤レンガ建物1階部分を全て使って、盛りたくさんのコーナーがつくられました。その他、多くの方々から展示・運営にご協力をいただき今回の特別公開を盛り上げることができましたこと

に心より感謝致します。

#### ◆将来に向けて

赤煉瓦倶楽部・半田は今年で11年目を迎えます。これまでは赤レンガ建物を知っていただくことを重点に活動してきたが、今後この特別公開で得られた一般の方からのご意見と「赤煉瓦倶楽部半田の活用案」を半田市に提案し、常時公開をめざし建物活用論が活発化し実現に向け大きく前進されることを望んでいます。(小林)

### ■ NEWS 02

## 第5回蔵のまち雑祭り

◆今年も、3月1日・2日に「半田蔵のまち雑祭り」が開催されました。

初日の午前中は雨模様で、風も強く、天候が心配でしたが、初日の昼から翌日にかけて晴天にも恵まれ、両日で2,500人のお客様に赤レンガ建物にご来場頂けました。

今年も例年通り、歴史資料展示、土雛、ステンドグラス雛、ガラス雛の展示、喫茶、物品販売、カプトビールの販売は勿論の事、新たな企画として、からくりラーメンの屋台、知っ多マンドリーノ様のギター・マンドリン演奏、我らが長谷川会長率いる、翔の会様のお琴の演奏もありました。演奏を聴く目的のお客様も多くお見えになりましたが、初めて入場された方も多く、赤レンガ建物を知って頂き、様々な利用目的がある事をアピールできたのではないのでしょうか。(新海)

### ■ NEWS 03

## これでいいのか！新春合宿！

古い街の歴史的ランドマークを大切にするのが、我が赤煉瓦倶楽部半田ではなかったのか？それなのに昭和25年1月から半田のまちづくりに貢献してきた成岩公民館和室での新春合宿に見切りをつけ、真新しいクラシティ3階のミーティングルームで新春合宿をやってしまった。これでいいのか！・・・

もちろんこれでいいのだ！29名もの会員が参加し例年どおり（以上？）の熱心な議論が行われ、椅子がコロコロよく動き、懇親会も2次会場まで徒歩1分という快適な環境での新春合宿でした。これからも赤煉瓦倶楽部は、古いものを大切にすぞ！ネッ、長谷川会長。(堀崙)

### ■ NEWS 04

## 「半田市文化賞」受賞

平成20年5月25日（日）、雁宿ホールにて半田市文化協会より、本年度の「半田市文化賞」を当倶楽部に授与されました。表彰式には長谷川会長、永田副理事長が出席し、表彰状とトロフィーを頂いて参りました。榊原市長より日頃の活動に対するお誉めの言葉をいただき、今後の倶楽部の活動に大いに励みとなりました。

なお、賞状とトロフィーは、レンガ建物内に展示してありますので、ぜひご覧下さい。(永田)



